

魅力ある学校づくり地域協議会通信

発行 魅力ある学校づくり地域協議会支援会議
宇都宮市教育委員会事務局生涯学習課

1 平成 24 年度「魅力ある学校づくり地域協議会情報交換会」の報告について

- ・ 去る平成 25 年 1 月 31 日（木）東生涯学習センターホールにて、地域協議会会長、地域コーディネーター、学校関係者等を対象に 123 名の参加を得て、標記の研修会（市教委学校教育課・生涯学習課、魅力ある学校づくり地域協議会支援会議共催）が開催されました。
- ・ この研修会の目的は、先進的な取組事例や円滑な運営方法などについて、情報交換を行うことにより、各地域協議会の活動の一助にしてもらうことです。
- ・ 当日参加された皆様には、研修会を振り返れるよう、また、当日参加できなかった皆様には、今後の活動の参考として、研修会の概要をお知らせします。

第 1 部 講話「魅力ある学校づくり地域協議会を生かした学校づくり、地域づくり」

日本大学文理学部教育学科 教授 佐藤晴雄 氏

- 地域協議会の活動の意義は、学校と地域が連携を進めることにより、学校教育の充実が図られるとともに、地域のコミュニティ形成も図れることにある。
- 現代の子どもたちは、生活体験や人間体験、自分を認める力が不足していると指摘されているが、それらの力を身につけるには、学校教育に加えて地域の大人によるかわりが求められている。子どもを学校のみで抱えて教育するのではなく、子どもの教育に対する責任を地域と共有するべき。学校を含めた地域全体で子どもを育てる機運の醸成が必要である。
- そのためには、開かれた学校づくりを進め、人的資源（ボランティア、地域住民等）、物的資源（社会教育施設、企業等）を積極的に学校に取り入れ、一方で、学校（児童生徒、教職員、学校施設）を積極的に地域や社会教育分野に開放することが必要である。
- 学校支援ボランティアを取り入れている学校やホームページで活発に情報提供している学校、保護者の意見や要望を積極的に聴いている学校では、児童生徒の学力が高い傾向にある。
- 学校と地域が連携して活動することにより、ボランティアの生涯学習活動が深まることはもとより、学校を拠点とした地域コミュニティの形成が進み、地域の教育力の向上が図れる。



第 2 部 グループ別情報交換

- 地域学校園ごとに他の学校園の情報も共有できるよう組み合わせたグループで、①学校支援において効果を上げている取組・工夫について、②学校支援における課題と今後の推進方策について、それぞれ意見交換を行いました。グループ協議の中での主な意見を紹介します。
- 学校支援において効果を上げている取組と工夫
 - ・ 学校環境整備では、ボランティアが活動している姿を子どもたちから見えるようにしている。大人と子どもが一緒に行う活動や「ボランティア感謝の会」の開催など、子どもたちに地域の中で育てられている実感と感謝の気持ちを芽生えさせるように工夫している。
 - ・ 登下校の見守りボランティアでは、通常活動時には、立哨場所に直行直帰で活動してもら

っているが、ボランティア全員が顔を合わせる意見交換会を年に数回開催している。ボランティア同士の交流が深まり、活動の持続と地域コミュニティの形成に寄与している。

- ・地域学校園で連携し、小学校運動会に中学生が手伝いに来てくれている。一人っ子が増えている中、小学生には年上の子に面倒を見てもらう機会に、中学生には年下の子の面倒を見る機会とボランティア意識の啓発に結びついている。小中学校区間で地域コーディネーターの連携を密にするため、四半期ごとに地域コーディネーター連絡会を設けている。(他にも、学校へ泊まるうキャンプの手伝い、夏休みの水泳教室に中学生が活躍している事例がありました。)



○学校支援における課題と今後の推進方策

- ・委員の間で、地域協議会の役割を再確認しあうとともに、子どもたちのために何をすべきか目的意識を明確にする必要がある。
- ・ボランティア活動や地域協議会が開催する行事の参加者が固定化されてしまっていることから、もっと地域人材を掘り起こし、後継者を育成する必要がある。
- ・地域協議会の事務局を担っている副校長と地域コーディネーターの役割分担を話し合い明確にしたので、相互の理解が深まりスムーズに活動できるようになった。
- ・就学時健康診断時や入学式など新入生保護者が集まる機会に、地域協議会の意義や活動を紹介し、地域協議会と保護者のかかわり、学校と保護者のかかわりについて話し合いたい。

2 「宮リーダー研修」の報告について

○宇都宮市教育センターが主催する標記の研修会にて、学校教職員（主に教務主任等）を対象に、地域協議会をテーマとした研修が行われました。研修会の後半では、当日参加した教職員同士が地域協議会の活動に対して日ごろ感じていることについて、意見交換を行いました。グループ協議の中での主な意見を紹介します。



○日ごろ感謝していること

- ・地域コーディネーターが学校の要望と学校支援ボランティア（教職員が知らない地域の専門家）をうまくマッチングしてくれて助かる。
- ・暑い夏も雪が降る冬も欠かさず、登下校の見守りをしてもらっている。本当に感謝している。
- ・校外で子どもの様子について気になることを伝えてくれるとともに、問題行動を起こした際にはきちんと注意し、学校に知らせてくれる。

○もう少し……なこと

- ・校内（特に職員室）で知りえた個人情報を口外してしまうボランティアがいる。
- ・活動の実施に当たっては、学校教育の本旨である教育課程の充足や学校行事などの準備に向けた時期、子どもや学級の状態などに配慮した活動を計画してもらいたい。

3 お知らせ

○次号では、特色ある活動や先進的な取組を実施している地域協議会を紹介します。こちらから取材のお願いをすることがありますが、その際にはご協力をお願いいたします。また、「是非、うちの地域協議会を紹介してほしい」という皆様からの情報もお待ちしております。(連絡先：生涯学習課(632-2674)まで)